

# 平成 25 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,518,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

## ●利用状況

		H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,940	13,580	15,257	16,240	15,604
	移動児童館利用者数	1,432	1,009	1,539	1,746	1,337
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	32	30	37	43	42
	開館日数(単位:日)	156	151	157	152	157

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、児童厚生員(2名)、体育指導員(1名)。 ③毎月のお便りを各小学校・幼稚園・公民館・地域の公園・健康センターに配布。児童館ホームページ掲載にも掲載。職員ブログで活動内容や行事の様子を掲載。 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示(公開)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、④適切に実施。 ③裏紙使用などの事務用品の節約、ペットボトルや牛乳パック等を利用した遊びの中でエコを再考している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①②センター内の清掃や修理に関しても職員で対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③適切に実施。毎月の安全点検を継続。情報共有し危機管理意識を高めている。 ②利用者と一緒に避難訓練実施。地震・火災の場合の避難方法を確認。職員間でも各部屋の避難場所を確認し合っている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年6月26日～7月31日に利用者アンケート実施(無記名)。
利用者アンケートの実施結果	○児童センターのホームページ・ブログについて 見たことがある 63%、見たことがない 17%、知っているが見たことはない 11% ○幼児クラブについて 満足60%、ほぼ満足38%、やや不満2%、不満0% ○「びよちゃんタイム」(0歳児)について 満足52%、ほぼ満足48%、やや不満0%、不満0% ○「ロボッ子タイム」(1歳児)について 満足44%、ほぼ満足56%、やや不満0%、不満0% ○「スキンシップタイム」(0歳児)について 満足54%、ほぼ満足25%、やや不満18%、不満3% ○「リフレッシュ講座」(保護者)について 満足82%、ほぼ満足18%、やや不満0%、不満0% ○「なごみタイム」(保護者)について 満足50%、ほぼ満足50%、やや不満0%、不満0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒対応 保護者対象リフレッシュタイム「なごみタイム」について午前中にやってもらえると良かった。 ⇒ ニーズにあった内容の提供に努める。開催日時等も検討し多くの方に参加してもらえるようPRしていく。 アンケートについての意見対応は改善できることは即対応し、幼児クラブで報告したり、掲示をして知らせた。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
	区分評価					S

### ●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>上半期に行ったアンケートで、「身体を動かしてあそびたい」という声が多くあった為、今までの読み聞かせに加え幼児クラブのない時期には体操・手遊びなども行う《ハッピータイム》の回数を増やして行った。7月末から9月中旬までの約2ヶ月間に17回の幼児向け行事を行い、幼児クラブの参加者以外にも自由に参加していただくことによりクラブの雰囲気を知ったり、保護者同士の交流の場となった。《ハッピータイム》の中には、ボディペインティングや絵の具あそびといったダイナミックなあそびを入れることで、家庭ではなかなか出来ない体験をすることが出来た。</p> <p>また、夏休みの児童対象行事についても、例年工作に多数申込みをいただくことから、人気の行事は午前午後で2回行ったり、昨年度に比べ工作の行事回数を増やすなどした。その結果、普段児童センターを利用していることは違った子ども達に多く行事に参加してもらうことができた。</p> <p>昨年度から行っている《おでかけ児童館》では、夏の間は熱中症の心配もあり参加者が少なかったが、春・秋には多くの方が参加してくださった。少しずつではあるが、《お出かけ児童館》の知名度も増加傾向にあり、旗を見つけて集まってきてもらえるようになってきたので、今後も積極的に活動を行っていききたい。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>昨年度までと同様、地域に出向いていく《おでかけ児童館》や《ロボッ子タイム》、母親クラブのサークルや留守家庭児童会への移動児童館は継続して行った。更に、今年度は地域の子ども会での夏祭りにスタッフとして参加し、地域の子育て支援団体との交流を深めた。</p> <p>また、9月には10月に行う児童センターのおまつりのスタッフ会も行った。おまつりには地域の中学校や高校の協力もあり、大学生ボランティア・クラブの小学生と共にスタッフとして事前のスタッフ会から参加をしてくれている。年齢の近い中高生スタッフと一緒に活動することで、小学生もよりボランティア活動を身近に感じ、異年齢交流を行うことが出来た。</p>
今後の取組み	<p>平日午後の比較的利用者の少ない時間を使った《なごみタイム》では、繰り返し毎回のように来てくださる方がみえる一方、なかなか新しい方の参加が増えていかなかった。アンケートでは曜日や時間の問題があがっていたので、火曜日が休館の場合は水曜日に行くなど(普段は毎週火曜日開催)、より利用者の参加しやすいように対応していききたい。</p> <p>また、保護者のためのリフレッシュ講座時の託児がなかなか確保できないという現状があるので、地域の方など託児に協力してくださる方を探し、保護者のニーズに応えていきたい。</p> <p>昨年度も行った地域の子育て支援関係者との「ネットワーク会議」は、今年度も行う予定である。</p>

### ●所管課の意見

<p>毎月のお便りの配布やホームページ掲載、職員ブログの更新、地域の情報誌への行事の周知掲載等広報活動を幅広く実施している。また児童センターのない校区の公園へ出向く「お出かけ児童館」を行うこともPRとなっている。</p> <p>利用者の要望やニーズの把握についてはアンケートを実施したほか「なんでもノート」を設置し保護者同士の情報交換・相談の場を提供するとともに児童センターについても聞くなどした。</p> <p>事業に関してはおはなしタイムの回数を増やしたり、ハッピータイム(体操・読み聞かせ)の回数を増やした。申し込みの多い行事についても回数を増やすなどして実施した。移動児童館も積極的に実施した。職員の配置も充実しており、経営状況にも問題なく運営が行われた。</p> <p>地域の小学校と協力・連携し、配慮を要する児童について相談するなど相互理解に努めている。また地域の歯科衛生士である保護者による「歯はっくらぶ」や母親クラブと連携し「読み聞かせ」を実施するなどボランティアの活用育成にも積極的である。</p> <p>子ども会で行われるおまつりなどの地元の行事にも参加し、地域団体との交流も行っている。</p>
--

### ●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業運営は活性化されており、施設間での競争意識も働いて良い結果が出ている。今後も他施設との情報の共有・交換を積極的に行っていただきたい。</p> <p>子育て支援に対する社会の要望をきちんと把握し、うまく活動に取り入れている。</p> <p>ブログ等のインターネットを利用した広報は大変効果があり、引き続き活用していくと良い。</p> <p>適正に管理運営されており、良好と認められる。</p>
--